# 志野流會節

791
シ2

湯浅四郎氏寄贈
162

# 志野流茶事道統

志野松隱軒　宗信
同　叅雨斎　宗温
同　不寒齋　省己
蜂谷休　齋　宗悟
同　一任齋　宗因
同　北翁　宗富
同　心與　宗清
同　揚山軒　宗榮
同　葆光斎　宗先
同　常足庵　貞重
大谷　月下庵　春水

愛知県文化会館
昭35.2.16
51089
A791
2
A791
32

久保　松風斎　宗苑
中山　月松齋　矩縄
河田　松月斎　直
島村　待月庵　宗栩
峰谷　閑齋　宗志
同　士常斎　宗敬
同　百枝

## 茶礼刻限

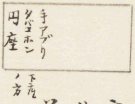
一層之茶之湯　正午
一夜咄之茶湯　暮六ツ時右ハ七ツ半頃より
一朝礼茶礼湯　朝六ツ半時
一暁礼茶之湯　暁七ツ半時右ハ七ツ時夜迄ニ云
一飯後茶之湯　夕飯後　朝飯後　菓子礼茶と毎云
一不時茶之湯　遠見の茶の湯々茶之湯之迄
茶入ハ之方より略客と茶用ス
一茶之湯約束以前一節日客より茶礼を案内礼
挨拶可有之事
一客後礼可有事
一口切道具組定

一路次面ト工作或ハ戸押フチ天井押フチ所ニ地見
合者竹ヲ改ル
一路次幕内ヲワラヒヲ用外ヲニ工口の茶幕ハ用中
尤ニ工口ヲ毎年口切ハ者ク改ル
一チリ箸サイ箸フタ置厚ク者ハ改ル
一爐又リカヘ畳トテ茶釜茶巾何ニ茶口切ハ改ニ又
ニ事
一路次松葉鋪板ヲ植込の下見合所ニ鋪之石まで一
ぢハ鋪ヲ不直
一松葉揚板の事ヲ内路次数寄屋の前ハ少ク大嶋
ヲ揚ル改ニ事ハ迎ハまで正月末或ハ二月ニ入ル
次内路次ハ揚ル扨風炉ハ成外路次ハ数揚ル之

如斯三度程ヲ改ル
一手水柄杓数寄屋の方ヲ外待合の方ヲ掛ル
當日茶ニ用の或
一数寄屋ソウジ路次ハ残ソウシ
一四ツ時釜掛ル
一掛物ヲ掛ル
一路次水打ハ久リ戸吉隠戸或ハサル戸迄水ヲ
一路次仕様ヲまず外待合ハ仕舞屋敷多茶移ぼ
手ぢぶり出ハまず待合ハ切り亜き支ヲ
内路次ハ掛ハ掛ハ之ヲ内ハ茶ヲ茶の為
ヲリ

夏ハ手ぢぶり出ハ金屏多茶移如

## 待合

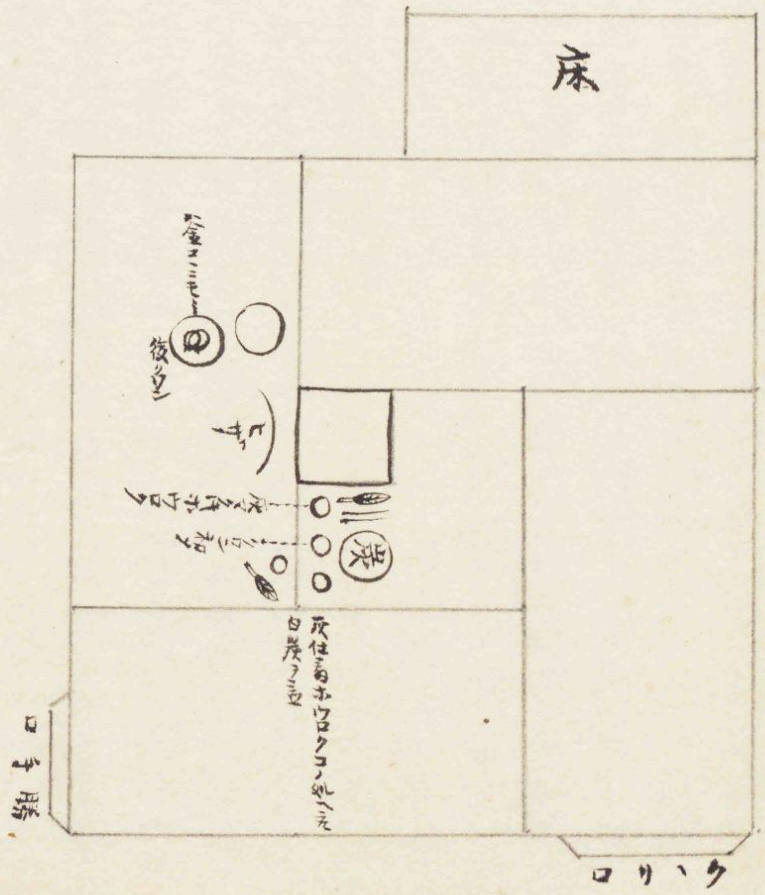



無之
夜咄の時ハ行燈上の方へ置雨フリ雪フ
リ之節客の数程待合に立掛有下駄ハ
前之飛石に揃へ置有り

一チリ穴ニ青葉少々入チリ箸立掛置有り
一膳手濃茶薄茶ハキ炭を組灰ハコヽニテ香合なと
ここタク可有之事
一料理方にても同様之事
正午客来り案内有待合に通り
一亭主数寄屋に入茶斗持出しほうろく持出し置付釜

炭掛ヶ灰を直し下火を直し其法のごとくして釜を
掛ヶ炭をりほうろくに入座敷一通羽箒にて清め改ゞ
水甕蓋切りかけ手水鉢に水を入替させ待合に案内に
出て帰り小中くゞり又ゆかた戸数寄屋の戸少し明
すけ置き入口　庭の手燭持出中くゞり戸外の飛石に
置帰る
一客方一礼なし一人ツゝ手水遣ひ入る如常之入用ハ上座
刀掛に行てその時次の者手水遣ひ上座くゞりへ入る角に
時次之者刀掛に行て上座座敷へ入たる時次くゞり口に
入上座釜之前ニ行て其時次座敷へ行上座本座に
付て其時次釜之前へ行拝見致して如何様人まて同前
庭之上座手燭を持客の残一跡手水鉢之遣る

茶席此を始末座口掛ノ下ノ辺石ノ上ヘ置き入こ
後帰るより手水鉢の水杓入て手始まる
一客不残入こなる時手水鉢の水杓入
一亭主揚る口切ノ一礼ありて互ノ礼ノ上座より
掛物拝揚きて
一亭主炭を杓持出置付炭ほうろく持出ふまを
めて炭杓をはらう炭杓作り
炭之順
一壱ツ羽箒二ツ小ハ三ツ大ハ三ツ香合置付四ツ鐵火箸付
五ツ釜敷六ツ釜揚ル七ツ鐵瓶ヲ八ツ羽箒ヲ
九ツ火箸ヲ下火箸ヲ十ツ炭ほうろく入ヲ
炭ほうろく十一炭ほうろく炭ほうろくは
取十二炭杓置仕舞ス十四ほうろく布の如ク五
羽箒ヲ炉ヲ紙羽箒ヲ掛ル十五香合
ヲ薫ル為ニ香ヲ入ル不足香合出ヲ所図ニ記ス
十六釜掛ル釜敷仕ル鐵瓶ヲ掛ル羽箒ヲ釜ヲ
ヲ拭ル羽箒仕ル炭ほうろく持入炭ヲ入ル
羽箒持出座ヲ迄ヲ釜ヲ切ル香合帰ル
取入ル
一炭仕舞香合ヲ入ル席出ヲ拝揚ル口切ハ
一但ル風炉ヲ炭ヲ炭ル風炉ノ中ヲ灰
帛ノ面ヲ多ク風呂ノ右ヲ二ツ左ヲ
風炉ノ左ヲ二通ル右ヲ風炉ノ前ヲ一通ル
帛腰ヲ付勝ル口ヲ炭ヲ釜席出ヲ拝揚ル




膳出ス仕順

一膳石殘ル分膳ヲ一ツ宛

一引物 平皿或ハ香物 膳ヲ口ニ付ケテ出シ一度是ヲ頂ケ

一飯椀出シ汁一通通リ

一中酒出ス

一焼物出ス重箱組合物又ハすまし出ス物の

是ヲ三菜の時有リ二菜ニ時ハ此時ハ

一飯椀出シ汁一通ヲ

一酒出シ上座ヘ行キ此ヲ飯椀出シ一ツ下ハ宮合換

杯ヲ使ヲ

一勝手ニ一ツ置ク

一膳ヲ口明ケ吸ヒの或ハ猪口肴等出ス

間なく引

一取肴ハすと宮物と二所ゟ持出盃ゟ杯ゟ宜しく

酒ゟ進く接拶ゟ仕を酒と為之

一湯ゟ吸物膳ゟ膳ゟ膳ゟ口しを為

一煎茶ゟ湯桶引く

此ゟ高砂ゟ仕廻々膳ゟ口明ゟ宜ゟ膳

引ゟ湯仕廻ゟ膳ゟ口ゟ為

一膳引き菓子出し膳ゟ口ゟ

客中立

但し風炉の時々膳引ゟ杯ゟ茶碗仕廻

菓子出ゟ客中立ゟ

客中立の内膳ゟ略式

一高砂ゟ略ゟ茶碗組ゟ一度ほうろく掛茶碗

仕廻ゟ柄杓ゟ蓋ゟ掛ゟ支ゟ小府数ゟ

先ゟ口の掛ゟ釜ゟ蓋ゟ菓子盆引掛物ゟ巻き

釜蓋ゟ府中ゟ湯ゟ巻ゟ釜蓋ゟ

花入ゟ菓ゟ入水指ゟ置付菓子ゟ水

新水ゟ入ゟ口ゟ略ゟ客ゟ案内ゟ

案内ゟ

一上々客ゟ出ゟ中々副人ゟ出す

一下々ゟトラ喚鐘ゟ々茶新同輩ゟ

一トラ打ゟ（大）（小）（大）（小）（中）（中）（大）

但し五ツ打ゟ上の大小ゟ数ゟ又高の数ゟ

打ゟ

右之通り仕り

一唐津 大 四 中 中 大

右五ツ一通り仕り

一亭主箸類上下着替致候の常躰茶碗茶入通り

一客入仕候ては水指入腰掛の多茶粉盆を

仕り等引く

一客座に付亭主薄茶拵出茶入と盆合水指拵拵

ゆくと盆拵出袴に拵拵引一袋共

一此時客より花の拵拵

一濃茶点出候の常と通り

一客の式常と通

一茶仕舞道具引亭主茶碗ほうろく拵出く

炭拵出候の初名通り此時所作まき薫物拵焚

茶碗出候度拵まり有

一炭仕舞まき込まと多茶粉盆出亭主と多

茶粉相伴して後く此時懇茶を出薄

茶点まるの茶の通り

一薄茶仕舞客一礼して隅に此時客行合と出く待

合て

一亭主客行合に有茶盆拵より出く行く行

合まと一礼して帰り客少後帰候之

此上

一客帰りく直ち数寄屋座敷仕舞中さぶ茶之客

共合道も帰り此迄拵まるの之

一朝茶之湯の支掃除を霄より中付明六ツ時より汲
水桶打ツ仕ること前より如
数手桶釜掛ケ物等掛ケるの六ツ時之仕方前より替
支別

一初炭之時座ほうろく別座口炭打出釜に水桶
きし座口別又出く釜掛ケ炭之引
一炭之水掛ケ炭之時ほうろく朝茶之湯之替るの打ケ
引り別り是座敷ケ釜掛ケ茶未だ出ず別ケ
水出し又釜掛ケ茶別り一体サラくとほうろく別茶
の湯の心打別り
但風炉の時と炭炉同前初ふ後まで

一座敷之茶之湯夕七ツ時より五ツ下付前前より水

待合

行燈

手アブリ
多量盆
円坐

下座ノ方

之打日暮之外行合へ多茶盆自行り出金燈
籠燈ケ多桶之如本燈の籠燈に内腰掛ケ茶行
燈ケ
但一外行合無之ハ之腰掛ケ計りの時之多
茶盆自行り茶座行燈別り水燈
本燈籠別り
一石燈の籠ケ

一数寄屋の内々掛ケ物ハ短冊短冊ハ本煙草盆
茶ふくろとも
但し四畳半ハ上ル短冊之ヲ分ケ下ハ本
煙草竹筒ハ
一客初メ先ツ前茶ハ点ル仕廻ル座ハ
座ハ出ル此の茶ヲ格ク点ル
一掛ケ物花格ク ハ茶格ク ハ
ハ脇ハ ヲ ハ和らかふ数ふらす
一短冊煙草数七筋
一ヲ外ハ五ヲ
一石煙草本煙草脇ハ行燈之筋ハ
長七寸ハ程何ト度ヲ付ケ

一飯後茶湯ハ方替ハ外ハ畳の茶ヲ料理
の時ヲ斗リ
一客初座ハ吸ものの酒肴茶ヲ又ハ酒肴茶ヲ
茶ヲ斗リ
右之通リ初座の仕度ヲ ヲ外畳の茶湯
おヽ替ヲ茶ハ
以上
一跡見の茶の湯畳ハ茶の湯の時ハ又茶ハ呼ヲ
ハ畳の茶帰リ時合ハ多茶盆多角等初メ
通リ出ヲ茶ハ客用ハ通ヲ客ハ時ヲ遠ハ
ヲ出ハ茶ヲ茶の通ハ
一数寄屋ヲ如の花ハ水指ハ毛付ハの茶ハ茶碗

茶入ふく袋取し飾り付候客座敷にゐては時茶
碗持出膳ヲ口ニ而客ニ挨拶候ハ客も礼あり済て
拇残りて候茶ヲ通とて茶長ク又ハ茶碗持出スまて
膳ヲ口ニ取々挨拶して後茶碗持出し之
一炭直し無菓子多葉粉盆出し薄茶点候之
常の茶の湯の中立より迄の事成り
一前ニ花を生たりとも其通り釜ニ水をたし毎
茶ニ大まて成ヶ迄への茶の大意成り
一掛々物なし茶入袋も見せ候見候
以上
一不時ニ客来り案内有て先続合ニ通し多葉粉盆
以外し内廣水仕打数寄屋構候

一客来り時物者へ朝ニ候半夜ニ来ル朝の茶之湯ニ而
時刻ニ来ル時ハ飯後の茶成る時ニ来ルハ昼の茶八ツ時ニ
来ルハ飯後之茶具来候時ニよりて此方の茶枝
段之料理之候人を何まてもサット構へ出候

愛知県
1103267911